

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実		課(室)名	こども未来館
	施策	子どもの成長への支援		電話番号	087-839-2571
	基本事業	健やかな成長を促す学びへの支援		事業実施主体	市
	事務事業	こども未来館学習体験事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	こども未来館学習は、こども未来館の施設を利用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの想像力と探究心を育むことで、健やかな成長に資することを目的に実施する。また、こども教室の開催やプラネタリウムの投影など、楽しく学べる場所を提供している。				
29年度概要	学習事業 ・こども未来館学習の実施 ・こども教室の実施 体験事業 ・不用品を使ったアート体験プログラム				
重点取組事業	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	こども未来館学習として、高松市内の小学校4年生（ただし、学校の状況により5年生以上、学校の希望により、中学校の生徒を対象に実施できる。加えて、連携中枢都市圏の小・中学生も受け入れ可能）こども教室は小学生以下を対象としている。
意図（どのような状態にしたいか）	こども未来館の施設を活用した体験的な学習活動を通して、子どもたちの創造力と探究心をはぐくむことで、健やかな成長に資することを目的とする。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
こども未来館学習実施学校数	校			21	50	50

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	こども未来館学習実施延べ人数	人	目標値			1,400	3,780	3,780
			実績値			1,737		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 平成28年11月23日に開館してから年度末までの短期間の間に、21校がこども未来館学習を実施し、目標の1.2倍を超える生徒が学習体験を行った。 							(達成度) 124.1% 35点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[円]			34,152	49,913
（事業費）	[円]			24,731	40,492
（職員人件費）	[円]			9,421	9,421

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>A</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
------------	----------	--------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）  
 開館してからの短い期間で多くの学校がこども未来館学習を実施した。今後、毎年度、より良いものになるよう見直す必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）  
 今後、こども未来館学習を実施した学校からの意見等を考慮し、より良いものになるよう見直しを図りたい。